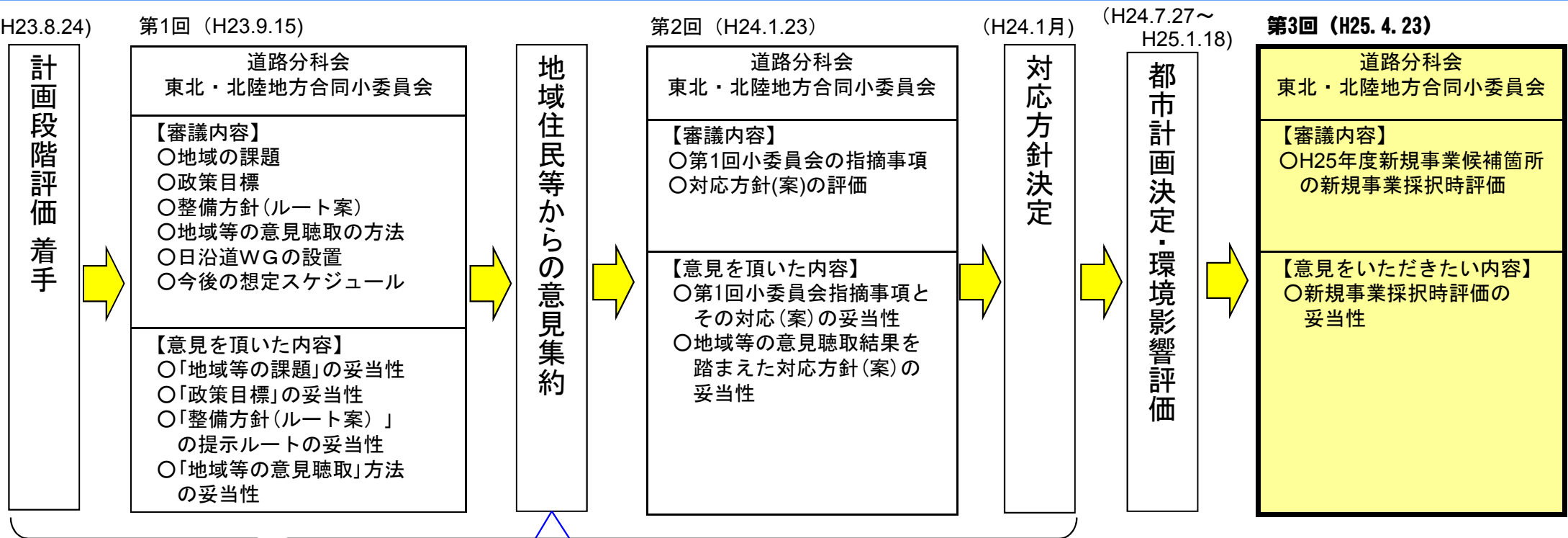


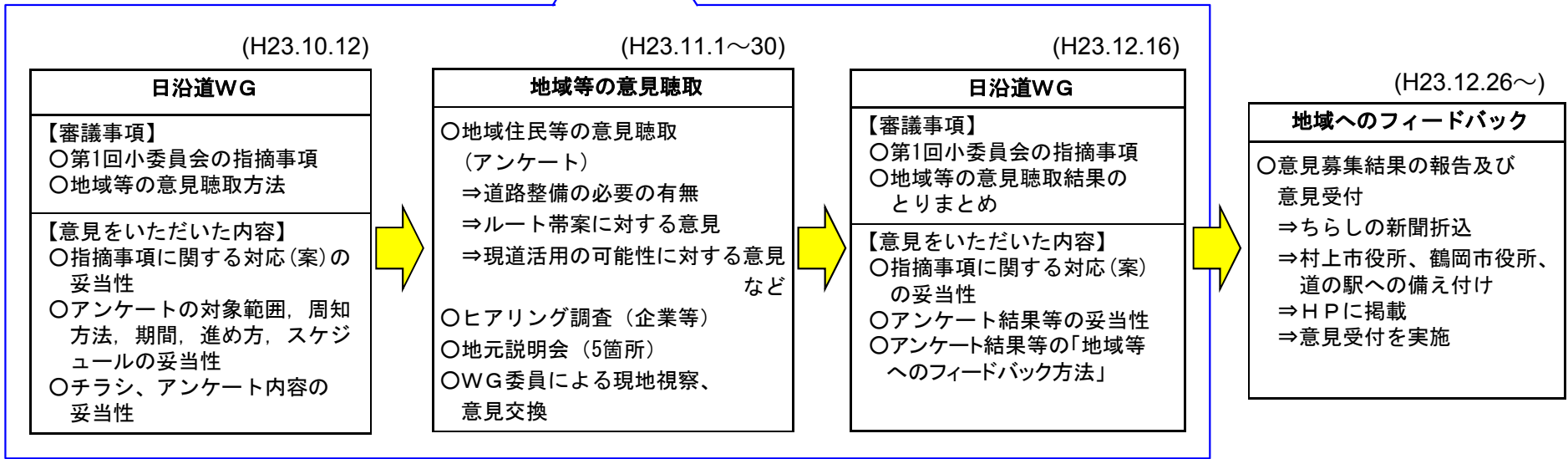
一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道)朝日温海道路

これまでの経緯と現状

これまでの経緯



計画段階評価

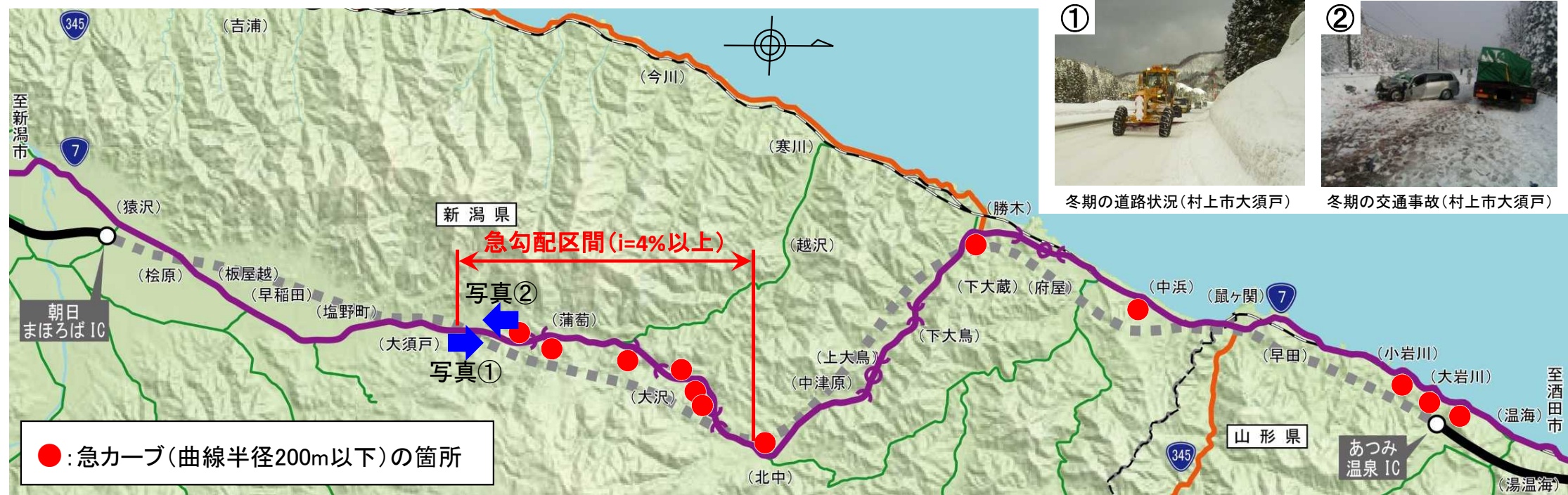


朝日～温海間の現状と課題について

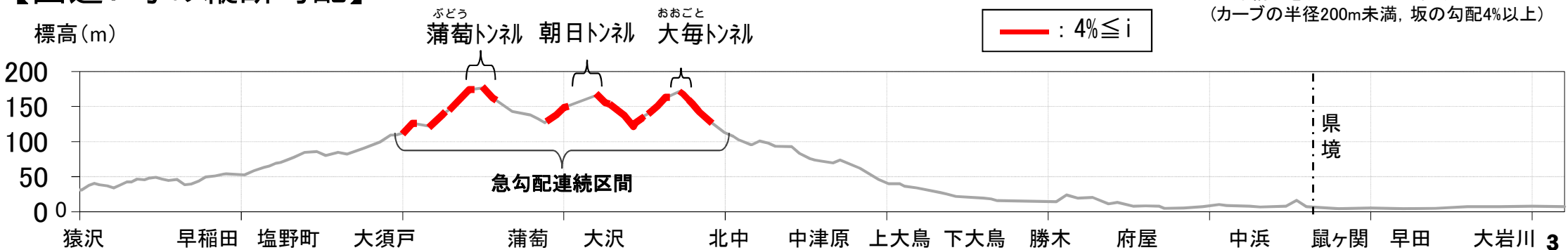
朝日～温海間の現状と課題 ①地形の状況

・朝日～温海間では、急峻な地形の中を国道7号が通過しており、急カーブや急勾配区間が多く、冬期は積雪や圧雪により道路状況が悪化する。

【県境地域の地形状況】



【国道7号の縦断勾配】



朝日～温海間の現状と課題 ②防災・災害時の救急活動等

- ・朝日～温海間の国道7号は、事前通行規制区間や災害危険箇所が多数存在。
- ・国道7号では、越波や土砂崩れ等の災害や交通事故による通行止めが過去10年間(H14～H23)で30回発生。
- ・当該区間では、主要幹線道路は国道7号しか存在しないため、通行止め時には、大きな時間的ロスが生じることから、物流企業等は物資輸送の信頼性に不安を抱えている。



平成17年8月11日



平成17年8月11日



平成24年4月4日



平成18年7月13日

朝日～温海間の現状と課題 ②防災・災害時の救急活動等(豪雨)

・平成17年8月の新潟県下越地域における豪雨により発生した通行規制では、国道345号も同時に全面通行規制となり、6時間にわたり村上～鶴岡間の交通が断絶。

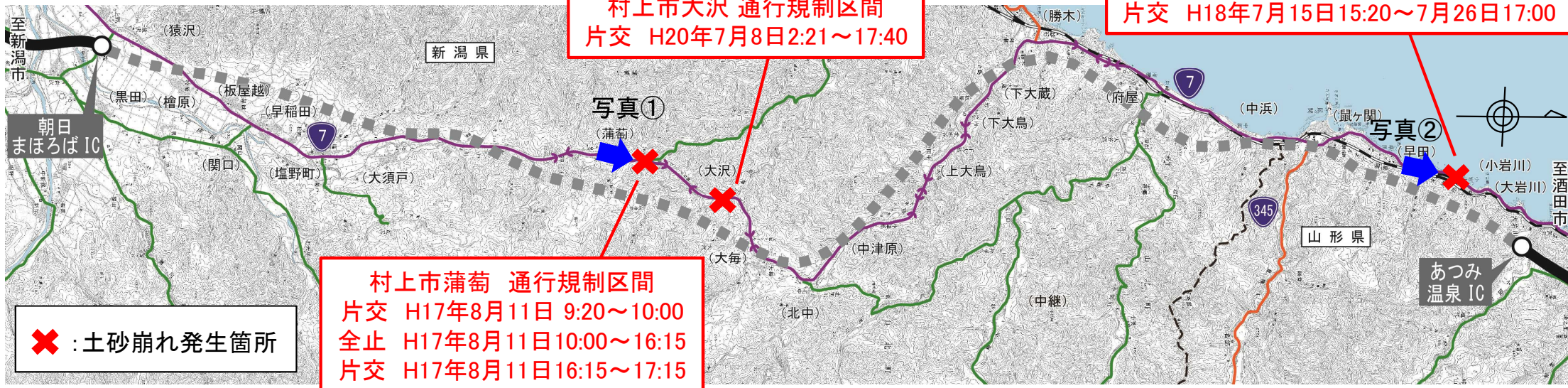
【豪雨による災害発生状況】



朝日～温海間の現状と課題 ②防災・災害時の救急活動等(土砂崩れ)

・平成18年7月に鶴岡市小岩川で発生した土砂崩れでは、平行するJR羽越線も被災し、42時間もの全面通行止めを含み、約2週間の通行規制が発生。

【土砂崩れの発生状況】



① 土砂崩れの発生状況(村上市蒲萄)
平成17年8月11日

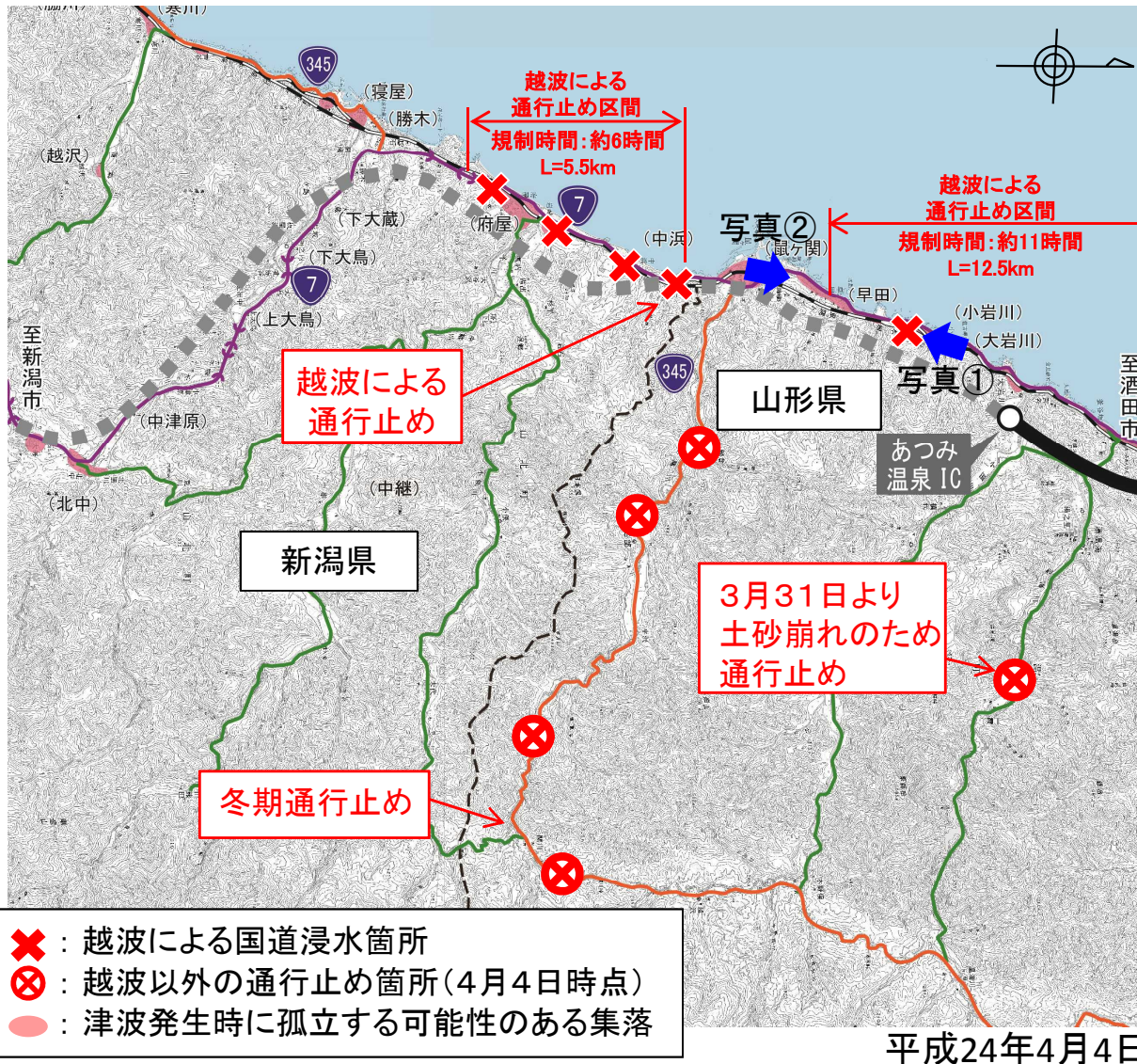


② 土砂崩れの発生状況(鶴岡市小岩川)
平成18年7月13日

朝日～温海間の現状と課題 ②防災・災害時の救急活動等(越波)

- ・平成24年4月に発生した爆弾低気圧により、県境付近の国道7号で越波が発生。
- ・約18kmの区間で全面通行止が発生し、約11時間にわたり村上～鶴岡間の交通が断絶。この通行規制による渋滞が発生。

【越波による通行規制状況】



① 越波による漂着物(鶴岡市早田)
平成24年4月4日



② 通行規制による渋滞状況(鶴岡市鼠ヶ関)
平成24年4月4日

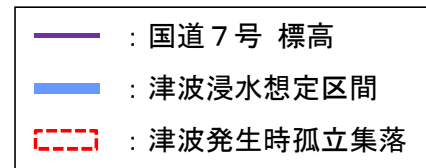
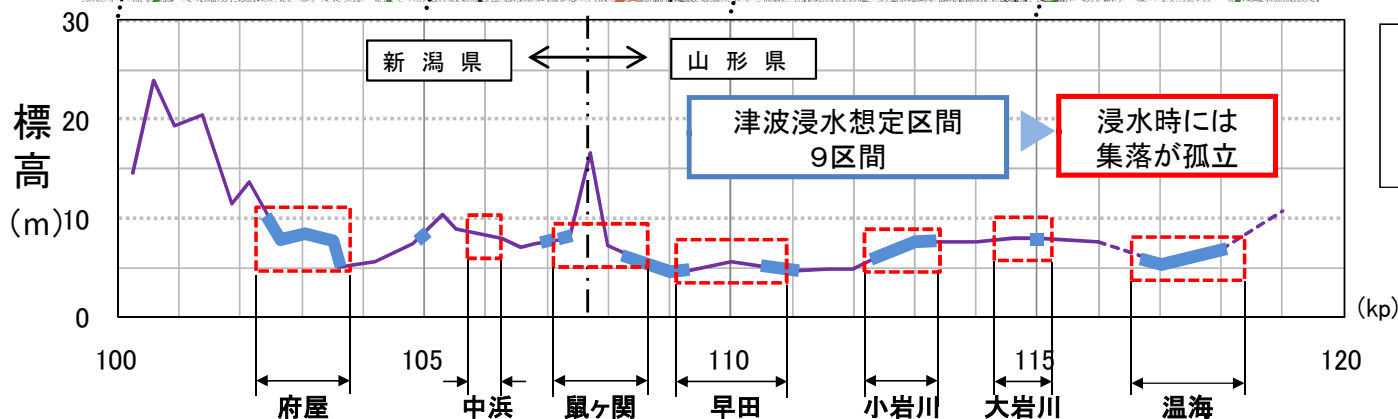
朝日～温海間の現状と課題 ②防災・災害時の救急活動等(津波浸水の恐れ)

- ・県境部における国道7号は、海岸線に面しており津波浸水が想定されているが、朝日～温海間における地域住民の避難経路は国道7号のみ。
- ・津波被害が生じた場合、国道7号の寸断により、集落が孤立する危険性がある。

【県境地域の津波浸水想定区間】



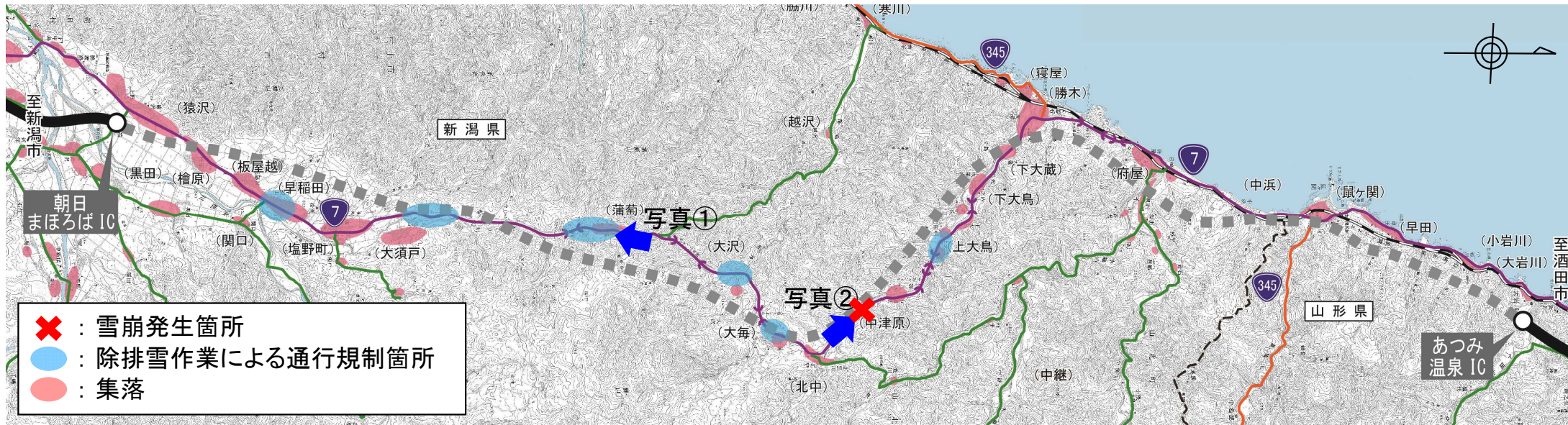
国道7号 鶴岡市早田



※各県の津波浸水想定図より国道7号浸水箇所を抽出
 ※国道7号標高は国土交通省michiシステムの値を使用
 資料:新潟県津波浸水想定図(H20.4)
 山形県津波浸水域予測図(H24.3.7)

朝日～温海間の現状と課題 ②防災・災害時の救急活動等(雪害)

- ・ 国道7号の山間部は豪雪地帯であり、雪崩や除排雪による通行規制が年平均10回・約80時間※発生している。 ※ H15.1～H25.1の過去10年間の集計値



① 道路堆雪の除排雪・雪庇処理による交通規制
(村上市蒲萄)



② 雪崩の発生状況(村上市中津原)
平成18年2月15日

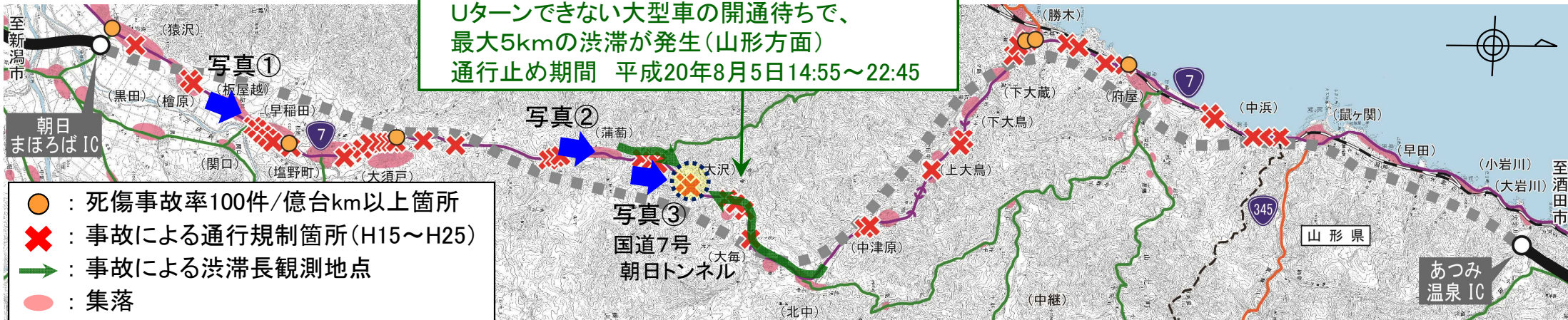
朝日～温海間の現状と課題 ③交通事故

- ・朝日～温海間では、大型車が通過できる幹線道路は国道7号だけであり、国道7号沿線に形成された集落内を大型車が通過している。
- ・平成20年8月に発生した朝日トンネル内の事故では、約8時間にわたり全面通行止めとなり、村上～鶴岡間の交通が断絶した。

【交通事故の発生状況】

【国道7号 朝日トンネル事故】

Uターンできない大型車の開通待ちで、
最大5kmの渋滞が発生(山形方面)
通行止め期間 平成20年8月5日14:55～22:45



出典:H18～H21 ITARDAデータ



① 民家に突っ込む大型トラック(村上市早稲田)
平成16年8月11日



② 狭隘な現道を通る大型車
(村上市蒲萄)



③ 国道7号 朝日トンネルの事故
平成20年8月5日

朝日～温海間の現状と課題 ③交通事故(冬期の交通障害)

- ・朝日～温海間は、急勾配区間があり、冬期間ではスリップや登坂不能等による交通障害が発生。
- ・冬期間は、車道幅員が狭くなり、歩行者が車道を通行するなど、無雪期よりも危険な状況となる。

【冬期間の交通状況】



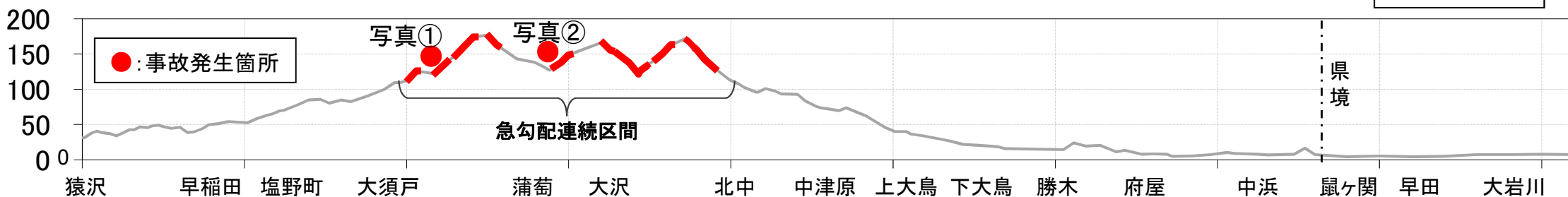
① スリップ事故による車道閉塞(村上市大須戸)
平成21年12月21日



② 車道を通行する歩行者(村上市蒲萄)

【国道7号の縦断勾配】

標高(m)

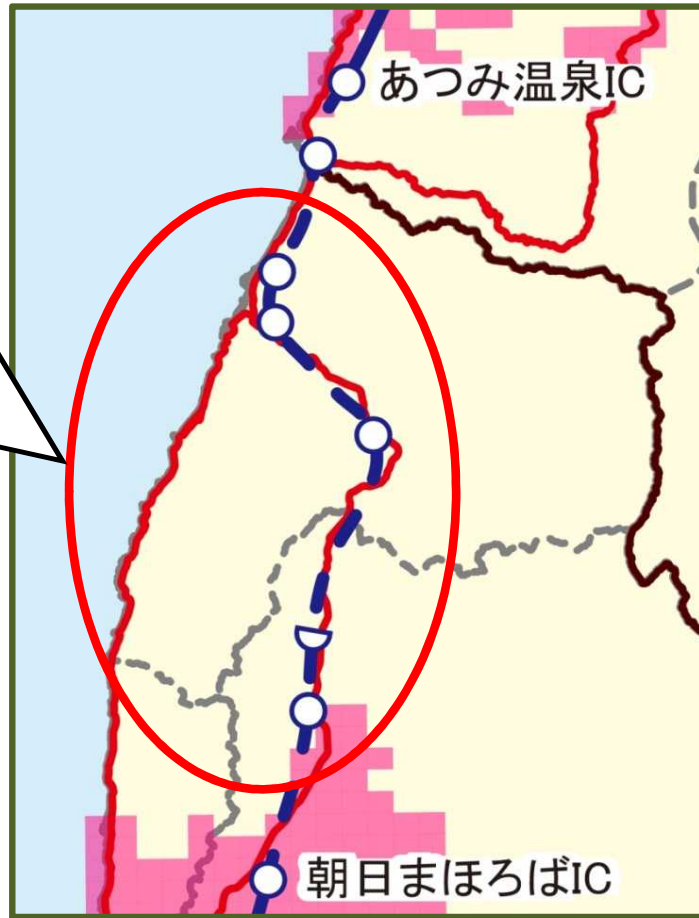


朝日～温海間の現状と課題 ④救急医療施設への速達性

- 新潟・山形県境地域では60分で第三次救急医療施設に到達できない地域が広く分布。
(村上市、鶴岡市の人口20.5万人に対して、圏域外人口は約1.3万人。)

【新潟・山形県境地域の第三次救急医療施設60分圏域】

県境部付近で
60分で病院に
到達できない地
域が広く分布



〈アンケート※で寄せられた意見〉

- 国道7号が災害や事故になると寸断されるので、救急搬送も出来なくなる

※ 日本海沿岸東北自動車道「朝日まほろばIC（仮称）～温海IC」間における新たな高速道路の計画に関する意見募集アンケート（H23.11）

